

ひ ぼう ちゅう しょう
これらは誹謗中傷 **言葉の暴力** です



ことば ぼうりよく ひぼうちゅうしょう 言葉の暴力（誹謗中傷）

じぶん こと いけん かんが かた ひと しゅつじ 民族 性的指向等の属性
自分とは異なる意見や考え方などをもつ人や、出自、民族、性的指向等の属性
ちが ひと たい ひぼうちゅうしょう いん た - ね っ と じょう おお み
が違う人たちに対する誹謗中傷がインターネット上で多く見られます。これ
らは、たにん そんげん きず しゃかいてきひょうか ていか へんけん さべつ じょちょう
は、他人の尊厳を傷つける、社会的評価を低下させる、偏見や差別を助長す
るなどのじんけんしんがい げんざい そ - しゃる ネットとわ - く さ - びす
るなどの人権侵害です。現在では、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）
をはじめとしたいん た - ね っ と じょう どうこう またた ま かくさん
インターネット上に投稿されることで瞬く間に拡散するなど、
おお もんだい ひぼうちゅうしょう ないよう ぶじょくざい めいよきそんざい
大きな問題となっています。誹謗中傷の内容によっては、侮辱罪や名誉毀損罪
などのつみ と じれい ひ さべつ ぶらく ひと たい へんけん さべつ
などの罪に問われた事例もあります。被差別部落の人に対する偏見や差別に
もと かく こ がいこくじん たい へい と す び - ち ひぼうちゅうしょう ひと
基づく書き込みや、外国人に対するヘイトスピーチも誹謗中傷の一つです。
いん た - ね っ と じょう ほんみょう つか か こ ひょうげん かけき
インターネット上では、本名を使わずに書き込みができるため、表現が過激
になりやすい傾向も見られます。誹謗中傷は、「標的」とされた人の居場所や
あんしん あんぜん うば いのち うば きけんせい なにげ
安心・安全を奪い、ときには命まで奪ってしまう危険性があります。何気なく
か こ だれ きず と かけ じゅうだい けっか まね おそ
書き込んだことが誰かを傷つけ、取り返しのつかない重大な結果を招く恐れが
あります。SNSやインターネットは手軽に情報収集・発信ができ、現代社会
になくってはならないものですが、だれ たい ひぼうちゅうしょう
誰かに対する誹謗中傷になってしまってい
ないか、つね かんが りよう ひつよう いん た - ね っ と じょう
常に考えて利用する必要があると思います。インターネットだけでなく、
ひごる こうどう じんけんそんちょう してん み なお
日頃の行動も人権尊重の視点から見つめ直しましょう。

■ ひぼうちゅうしょう どうこう だれ きず
誹謗中傷はやめましょう。SNSに投稿するときは、誰かを傷つける

ないよう かなら いちど た ども かくにん
内容になっていないか、必ず一度立ち止まって確認しましょう。

■ なに ひぼうちゅうしょう かんが つづ
何が誹謗中傷にあたるのか、考え続けていきましょう。